

# 2015年9月期第1四半期決算

---

2015年1月30日

**MRI** 株式会社三菱総合研究所

---

## 1. 2015年9月期第1四半期決算と業績予想

## 2. 参考資料

---

# 2015年9月期 第1四半期のまとめ

売上高：139億円 前同比△0億円

- シンクタンク・コンサルティングサービス売上増加し、前年同期並みを維持

経常損失\*：△2億円 前同比+2億円改善

- 両セグメントで、稼働向上・高採算案件寄与により損益改善

\*経常損失計上は売上の季節要因によるもので例年の傾向

上期・通期業績予想は変更なし

- 通期売上予想の8割を既に受注済み
- ITサービスの受注出足厳しいが、下期挽回を狙う

# 第1四半期連結決算 <前年同期比>

(百万円)

	2014年9月期 1Q(10~12月)	2015年9月期 1Q(10~12月)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	13,974	<b>13,967</b>	△6	△0.0%
売上原価	11,425	<b>10,977</b>	△447	△3.9%
売上総利益	2,549	<b>2,990</b>	+440	+17.3%
売上総利益率	18.2%	<b>21.4%</b>	+3.2P	—
販売費及び一般管理費	3,076	<b>3,309</b>	+233	+7.6%
営業利益(△損失)	△526	<b>△318</b>	+207	—
営業利益率	△3.8%	<b>△2.3%</b>	+1.5P	—

## ●売上高の顧客業種別内訳・前同比増減理由

(百万円)

	前1Q	当1Q	増減額	増減率	増減理由
官公庁	331	<b>439</b>	+108	+32.8%	
金融・カード	8,073	<b>8,479</b>	+405	+5.0%	リスク管理支援案件や顧客データ分析案件等が貢献
一般産業	5,569	<b>5,048</b>	△521	△9.4%	前1Qシステム開発案件の反動減

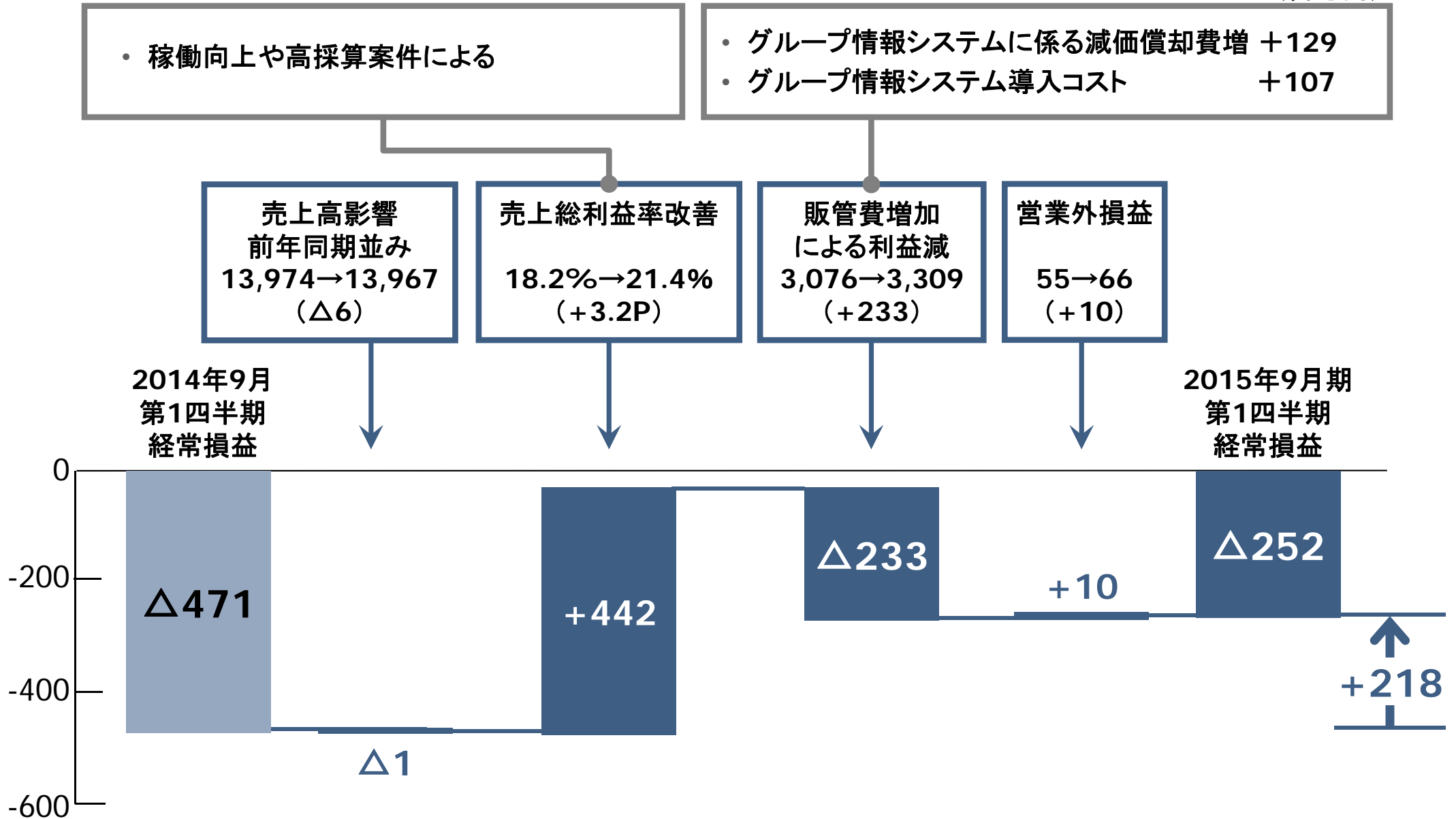
# 第1四半期連結決算 <前年同期比>

(百万円)

	2014年9月期 1Q(10~12月)	2015年9月期 1Q(10~12月)	前年同期比	
			増減額	増減率
営業利益(△損失)	△526	<b>△318</b>	+207	—
営業外損益	55	<b>66</b>	+10	+19.6%
経常利益(△損失)	△471	<b>△252</b>	+218	—
特別損益	△6	<b>△10</b>	△4	—
税金等調整前四半期純利益(△損失)	△477	<b>△262</b>	+214	—
法人税等	197	<b>139</b>	△57	△29.3%
少数株主利益	73	<b>70</b>	△3	△4.2%
四半期純利益(△損失)	△747	<b>△472</b>	+275	—
1株当たり四半期純利益(△損失)	△45.53円	<b>△28.74円</b>	+16.79円	—

# 経常損益の変動要因 <前年同期比>

(百万円)



# シンクタンク・コンサルティングサービス

(百万円)

	2014年9月期 1Q(10~12月)	2015年9月期 1Q(10~12月)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	1,637	<b>1,895</b>	+258	+15.8%
営業利益(△損失)	△1,042	<b>△926</b>	+115	—
営業利益率	△63.6%	<b>△48.9%</b>	+14.7P	—
経常利益(△損失)	△1,035	<b>△916</b>	+119	—
受注高	6,465	<b>4,835</b>	△1,630	△25.2%
受注残高	26,996	<b>28,353</b>	+1,357	+5.0%

\* 当期より報告セグメント区分を変更しており、前年同期の数値は変更後のセグメント区分に組替えております。

## 主なポイント

- 金融機関向けリスク管理支援案件や顧客データ分析案件などが売上に貢献し、増収
- 稼働向上により、販管費増を吸収し、損益改善。営業損失計上は売上の季節要因によるもの
- 受注順調。官公庁向け案件が着実に積み上がり、受注残高は前同比増加

## ITサービス

(百万円)

	2014年9月期 1Q(10~12月)	2015年9月期 1Q(10~12月)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	12,337	<b>12,071</b>	△265	△2.1%
営業利益	543	<b>616</b>	+72	+13.3%
営業利益率	4.4%	<b>5.1%</b>	+0.7P	—
経常利益	595	<b>674</b>	+78	+13.2%
受注高	15,954	<b>10,803</b>	△5,151	△32.3%
受注残高	41,815	<b>35,176</b>	△6,639	△15.9%

\* 当期より報告セグメント区分を変更しており、前年同期の数値は変更後のセグメント区分に組替えております。

### 主なポイント

- 前1Q の一般産業向けシステム開発案件の反動減により、減収
- 減収も、高採算案件売上により増益を確保
- 前年大口受注の反動減、メガバンク投資抑制影響により、受注高、受注残高とも前同比減少



## 2015年9月期 連結業績予想

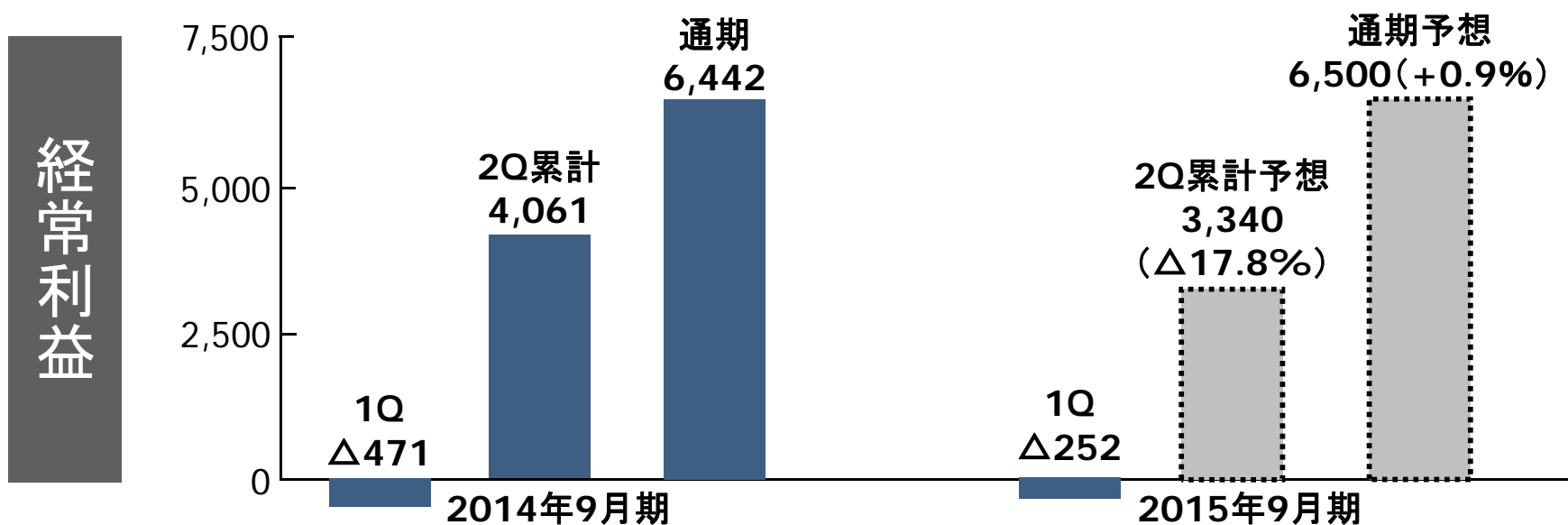
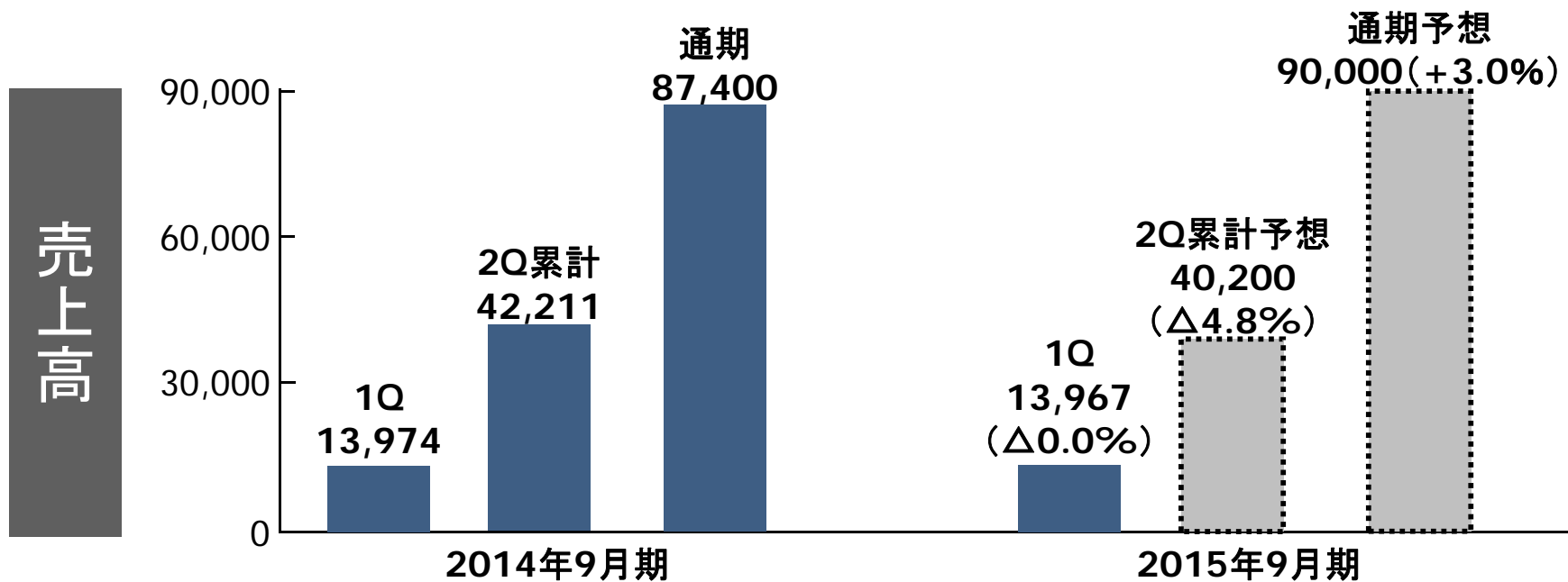
前回(2014/10/31)予想から修正なし

(百万円)

	2014年9月期 実績 ①	2015年9月期 (予想) ②	前期比	
			増減額 ②-①	増減率
売上高	87,400	<b>90,000</b>	+2,599	+3.0%
シンクタンク・コンサルティングサービス	32,532	<b>34,000</b>	+1,467	+4.5%
ITサービス	54,867	<b>56,000</b>	+1,132	+2.1%
営業利益	6,079	<b>6,100</b>	+20	+0.3%
営業利益率	7.0%	<b>6.8%</b>	△0.2P	
経常利益	6,442	<b>6,500</b>	+57	+0.9%
当期純利益	3,405	<b>3,700</b>	+294	+8.6%
1株当たり当期純利益(円)	207.36	<b>225.28</b>	+17.92	+8.6%

# 2015年9月期 連結業績予想

単位:百万円、( )内は前年同期比



## 1. 2015年9月期第1四半期決算と業績予想

---

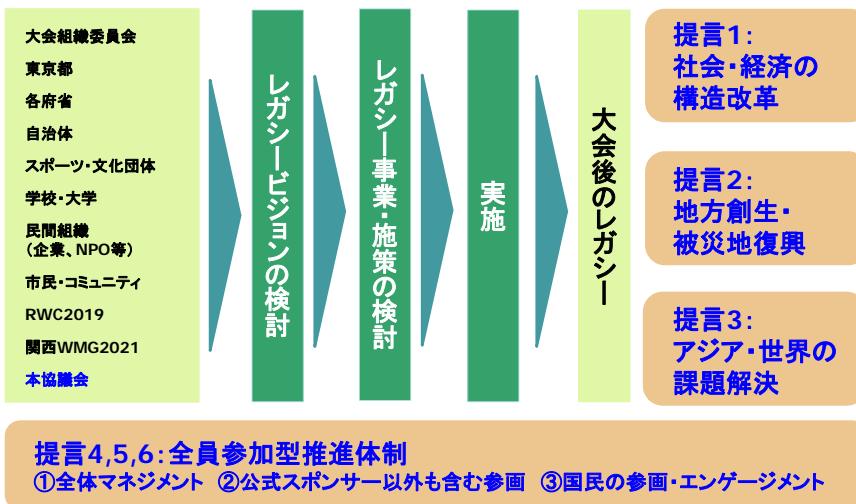
## 2. 参考資料

# 未来共創

## オリンピック・レガシー共創に向けた活動本格化

- 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会を契機に、社会課題の解決を加速し、未来にポジティブなレガシー(遺産)を築いていく活動や事業を推進
- 2014年4月に産官学連携の「レガシー共創協議会」立ち上げ、176団体が参画
- 社会課題の解決や夢の実現を事業・施策化し、成熟社会への構造転換を目指す

2014年12月  
「レガシー共創に向けた  
40のプロジェクト提案と6つの提言」発表

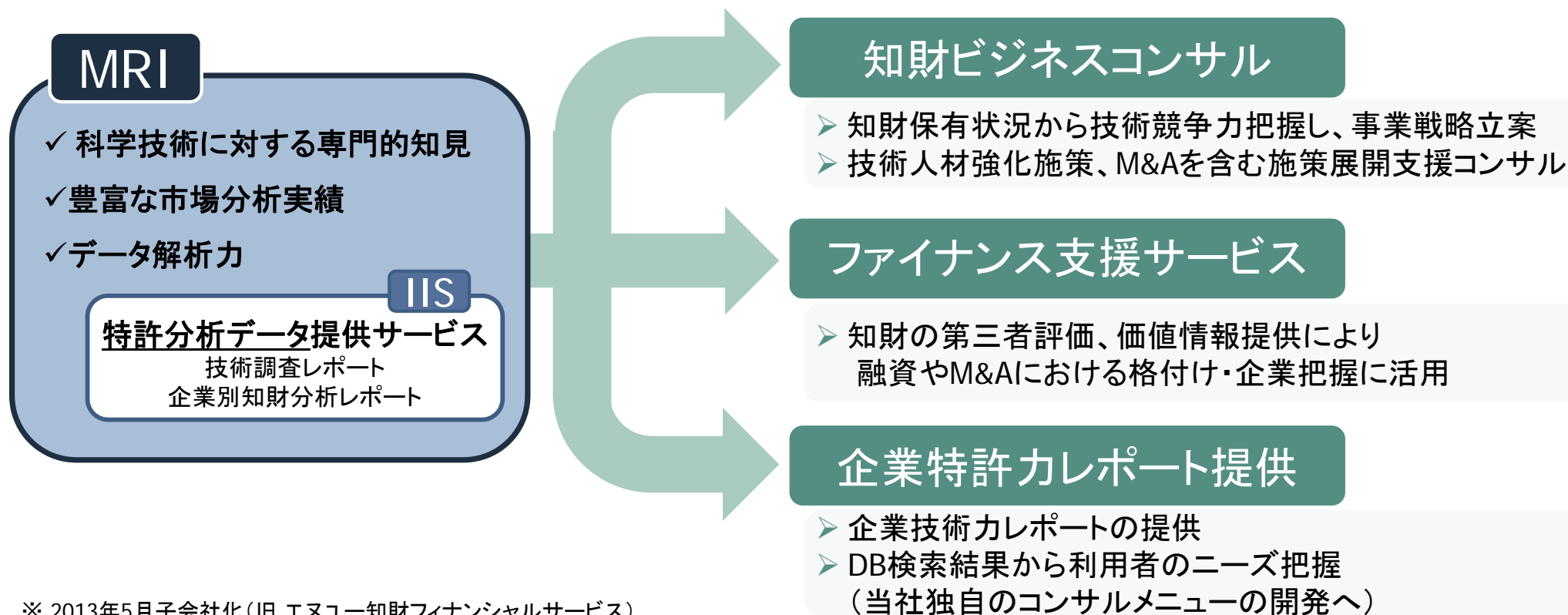


2014年11月「レガシー共創フォーラム2014」  
来場者総数: 40都道府県421団体より950名

# 知財コンサルティング

## 子会社を吸収合併、知財起点ビジネスコンサル事業の拡大加速

- 2015年4月、知財情報サービス株式会社(IIS)※を吸収合併
- 4,500社 & 250製品分野以上の技術資産経済価値評価ノウハウに強み
- MRIコンサルの上流・企画に組み込むことで、事業の拡大加速・新サービス展開へ



※ 2013年5月子会社化(旧 エヌユー知財フィナンシャルサービス)

## 将来の見通しに関する注意事項

この資料は、将来の見通しに関する記述を含んでいます。予想値を含めこれら将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいた当社の判断によるものです。

こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、予測困難なリスクや不確実性を内包するものです。したがって、実際の業績等は、これら種々の要因によって見通しと異なる結果となることがあります。

当社は、将来の事象や新たな情報等を反映して、将来の見通しに関する記述を更新したり改訂したりする義務を負いません。



株式会社三菱総合研究所

経理財務部 IR室

TEL : 03-6705-6001  
FAX : 03-5157-2171  
E-mail : ir-info@mri.co.jp  
URL : <http://www.mri.co.jp/>